

地元の信頼を得ながら、一步一步着実な水田拡大プラン

森本 浩一郎

1 はじめに

私の家は、父が専業農家として稲作を3ha、受託作業を10haを行っており、私は仕事の休みの日に田植、稲刈り等を農繁期に手伝っていました。平成25年に父が亡くなり、仕事をしながら自作地1.2haの作付けを行いました。適期に適切な作業ができず、時間も、知識も不足していることから、良質なお米を作ることができずにいました。

どうせ作るなら、良いものを作りたい、また、離農する人が増え、耕作放棄地が増える現状を見て、地域の農地を守りたいと思うようになり、平成29年から専業農家となりました。地元の■■周辺でも耕作できない地権者の方が増えていることから、まずはここを拠点にして、地域の担い手として規模拡大していく方向です。

労力的には、基本的には私1人で、繁忙期に母に手伝ってもらっている状況です。まだ農業を始めて間もない状況ですので、面積拡大については急激には行わず、現在の労力で一步一步確実に地域の農地集積から進めていきたいと思っています。

規模拡大にあたっては、大切な農地を借りているのだから、私に作ってもらって良かったと思われるような作り方をしたいと思っています。大規模で作付けしているから少々荒れた作り方は仕方ないとは思われたくありません。作り手のない田んぼを「作ってやっている」ではなく、「作らせてもらっている」ことに感謝し、地権者の方に喜んでもらえるような管理をすることで、手をかけた良いお米をしっかりと作っていきたいです。

また、一生懸命丁寧に管理することによって、地域の方もいろいろ協力してくれるようになると思います。今後、耕作者が減少したときに水路の維持管理など自分だけではできないため、地域の方にも協力してもらえるような関係を築きながら、経営発展を目指したいと思っています。

2 経営理念

- ・地域の担い手として、地域の方の協力を得ながら拡大を行っていく。
- ・丁寧な稲作りを目指し、地域から信頼される農家になる。
- ・一步一步着実に規模拡大を図っていく。

3 経営の現状と計画

(1) 経営規模の現状と計画

(単位：a)

項目	H29('17)	H30	H31	H32	H33('21)	
	(現状)	('18)	('19)	('20)	(目標)	
経営耕地 (計)	480.1	665.6	800	900	1000	
うち所有地	144.9	144.9	144.9	144.9	144.9	
うち借地	335.2	520.7	655.1	755.1	855.1	
栽培面積						
水 稲	478.1	665.6	800	900	1000	
内 訳	コシヒカリ	253.7	189.6	200	200	200
	きぬむすめ	82.2	144	200	200	200
	その他うるち	0	64.1	0	0	0
	飼料用米	142.2	267.9	400	500	600
作業受託(のべ;a)	185	475.9	550	620	690	
内 訳	耕耘	15	196	200	200	200
	代掻き	11	63	70	70	70
	田植	63	57	100	150	200
	稲刈り	44	141.9	160	180	200
	草刈り	52	18	20	20	20
	畦塗り (m)				200	500

(2) 農業労働力 (現状と計画)

農業従事者	年間農業従事日数*		年 齢	備 考
	現況(H29)	計画 (H33)		
森本浩一郎 (本人)	200日	300日	38	
母	20	15	63	

*8時間を1日に換算

(3) 農業機械施設の整備状況 (H31年.1月時点)

区 分	台 数	規格・能力* (○条、○PS 等)	導入年度	備 考 *中古導入、自己資金、補助事業等 該当事項を記入
トラクター				
田植機				
コンバイン				
軽トラック				
トラック				

4 プラン目標 (プラン期間：平成 30～平成 32 年度、目標年：平成 33 年度)

① 水田経営面積、作業受託面積の拡大

安定した経営発展のため経営規模を拡大していきます。地域の受け皿として、作れない方の田を請け負います。現状ではお断りしている受託作業もありますが、新規に導入するトラクター、田植機、コンバインを十分に活用し、拡大を進めていきます。

水田経営面積 現状：4.8ha → 目標年度：10ha

作業受託延面積 現状：1.8ha → 目標年度：6.9ha

② 主食用米の販売金額の増加

現状は大半を市内の米穀店に販売していますが、価格等でより有利な販売先を開拓し、販売金額の増加を目指します。このため、良質米の生産をしていく考えです。

主食用米の販売金額 現状：100 (指数) → 目標年度：134 (指数)

③ 安定した米収量の確保

丁寧な稲作に心掛け、規模拡大後も現在同様、反収を確保していきます。

コシヒカリ単収：460kg/10a

きぬむすめ単収：580kg/10a

飼料用米単収：560kg/10a

5 目標達成のための課題と改善内容、及びその効果

課題① 水稻主要作業の効率化と適期作業の実施

改善策：田植機、トラクター、コンバイン等の導入

- ・現状の面積で春作業の時期は、朝早くから夜遅くまでの作業が続いており、面積拡大を計画している中、現状機械では対応不可能。
- ・耕耘、代掻き作業は、地域の水が来る時期、田植え時期までに行う必要がある。
- ・田植え作業は適期に行うことが必要で、作業が遅れると生育不良となる。
- ・稲刈り時期も適期からずれると、良いものが作れず品質低下につながる。
- ・作業受託の要望に十分応えられず、お断りしている場合もある。

このため、効率の良い作業が行えるようトラクター、田植機、コンバインの導入を計画しています。

課題② 乾燥調製作業の効率化

改善策：乾燥機、粃すり機等の導入

- ・現在乾燥は、近所で乾燥機を持っている方2人に借りて作業を行い、粃すりは集落で共同

利用しているものを使っているため、バラバラの場所にあるなど作業効率が悪い。

- ・借りている乾燥機は、所有者の方が使用する時期には使えないため、自由には使えない。
- ・今後の経営規模拡大、発展を考えると乾燥調製設備の増強が必要で、今回の申請で導入を予定しています。なお、乾燥機等を設置する建屋については賃貸で探しているところです。

課題③ 丁寧な稲作りの継続

改善策 ア：畦塗機導入による除草効果アップと生産安定

- ・除草剤の効果は、水持ち、水管理に左右されるため、畦の管理を適切に行うことが重要。
- ・現状、手堀りで畦直しをしたり、一部はJAに畦塗りを委託しており、労働時間や委託費が増えてきている。このため、畦塗り機を導入し効率的に畦塗りをを行い、水持ちの良い田を作っていきたい。
- ・また、代かきも除草対策に重要になるため、浅水代かきでゆっくり丁寧にを行い、ほ場の均平、雑草の埋没等を図っていく。

改善策 イ：土壌診断による肥培管理の実施

- ・土壌診断結果を基に、土壌改良材を使用するなど、適切な肥培管理を行う。
- ・低コストで実践できるへの字農法なども取り入れ、品質向上、倒伏防止、肥料代低減に取り組む。
- ・飼料用米についても、必要な肥料は適切に投入し、面積拡大後も収量を保っていき、収量に応じて支払われる交付金をしっかり確保したい。

改善策 ウ：適切な病虫害管理の実施

- ・病虫害で問題となるのはカメムシで、斑点米が発生し品質低下につながる。このため、カメムシが発生しないように畦草刈りを徹底して行っており、今後も継続していく。
- ・本田での農薬使用は発生状況を確認しながら必要最小限の適期防除を行う。
- ・水稻栽培は株間を広く取る疎植栽培を行い、風通しを良くして病虫害が発生しにくい環境を作り、併せて苗代の低コスト化を図っていく。

改善策エ：機械点検メンテナンスの継続実施

- ・作業終了後には必ず機械の洗浄を行い、丁寧な使用に心掛けている。また、点検メンテナンスも可能な範囲で実施しており、機械の状況も常に把握できている。これらは今後も継続し機械の長期使用と修理代の節約を図っていききたい。

課題④ 主食用米販売金額の増加

改善策：直接販売の拡大

- ・米穀店中心の販売から、より有利な販売先を開拓していく。
- ・基本的に自分1人の労力のため、個人向けのネット販売など小口の出荷対応は困難。

- ・30年産米からの新たな取引先として、加工（菓子）用として、年間50袋程度の売り先を確保。

今後も新規販路開拓を行い、なるべく大口で、米穀店よりも単価の高い売り先を見つけていきます。

6 具体的な取組と役割分担

具体的な取組項目	H30	H31	H32	H33 (目標年度)	役割分担
経営面積拡大	○	○	○	○	事業主体、中間管理機構、市農業委員会等
作業受託面積拡大	○	○	○	○	事業主体
安定収量確保	○	○	○	○	事業主体、JA、県(普及所)
機械設備の充実 ・田植機(6条) ・トラクター(40ps) ・ドライブハロー ・畦塗機 ・コンバイン(4条40ps) ・乾燥機(25石) ・粃すり機一式 ・穀類搬送機	◎	◎ ◎ ◎	◎ ◎ ◎		県、市、事業主体

○：事業主体によるもの（補助事業活用無し）

◎：県・市の支援が必要なもの（がんばる農家プラン事業）

7 支援事業の内容（年次計画）

（単位：千円、事業費は税込金額）

項目	H30	H31	H32	負担区分
田植機（6条）	3,192			
トラクター（40ps）		6,646		県 1 / 3
ドライブハロー		1,201		市 1 / 6
畦塗機		935		事業主体 1 / 2
コンバイン（4条40ps）			7,134	
乾燥機（25石）			1,481	
粃すり機一式（3インチ）			1,026	
穀類搬送機（レザ-コンテナ）			228	
計	3,192	8,782	9,869	